

# キャリア教育支援ツール [自己発見・職業・学問適性診断]



## 活用例とスケジュール 1 (文理選択での活用例)

type  
S

詳しくは担当まで  
お問合せください

### =CONTENTS=

- 1 R-CAPを利用した文理選択指導の活用
- 2 夏休み前にはほぼ決定する <春受験パターン>
- 3 秋以降にはほぼ決定する <秋受験パターン>
- 4 夏休みから秋にかけて決定する <夏休み前受験パターン>
- 5 2年次で文理選択する <1年次冬受験パターン>

詳しくは内面をご覧ください

最新の情報はWEBページもご覧ください。  
各種ご依頼フォームやワークシート集・  
授業プランを多数そろえております。

アールキャップ teens

検索

[http://r-cap\\_teens.riasec.co.jp/](http://r-cap_teens.riasec.co.jp/)

# 1 R-CAPを利用した文理選択指導の活用

## ■ 主な効果

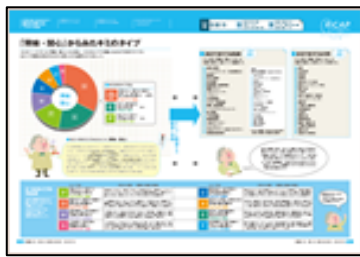
R-CAPは、文理(科目)選択指導に効果的であるとの声を多数いただいています。

- ☑ 教科の好き／嫌いを超えた、広い視野で選択できるようになった
- ☑ 保護者や友達の意見ではなく、自分の考えをきちんと持って選択できるようになった
- ☑ 狭い視野で職業や資格志向をみていたが、改めて広く考えるようになった

## ■ 主な活用方法

R-CAPでは、「興味・価値観・志向」の観点から、その生徒が考えてもみなかったような、**満足できる可能性の高い「職業・学問」**を複数提示し、**視野を広げます**。また、付属の仕事/学問カタログを調べることで、文理(科目)選択と将来の関係を意識させることができます。

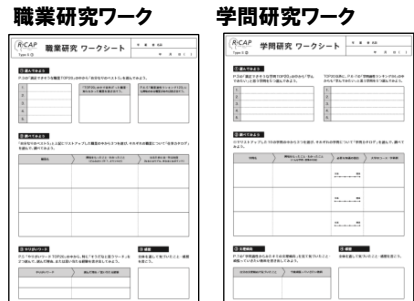
### 職業・学問を幅広く知る



### 仕事/学問カタログを調べる



### ワークシートを活用する

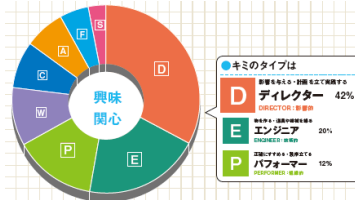


※ 教員用指導マニュアルP10、12に掲載 Webページからもダウンロード可

## ■ 担任の先生のための参考データ

教員用のクラスデータ一覧から、文理(科目)選択で注意の必要な生徒を類推することができます。  
理系クラスから文転した生徒の多くが、キミのタイプでAアナライザー・Eエンジニアの低い生徒であった事例報告を参考としています。

### キミのタイプ



## ■ 文理傾向データ分析

R-CAPの結果や進路アンケートから5つの項目に注目し、特に注意が必要な生徒の一覧を作成できるようになりました。  
詳しくは、お問合せください。

## ■ ワークシートのご紹介

### 文理科目選択ワークシート

### 学問の早見表(裏面)

R-CAPを利用した文理(科目)選択を考える専用ワークシートがあります。

【文理科目選択ワークシート】(両面)  
将来の職業・学問を同時に意識し、目的をもった文理選択をサポート。

※ Webページよりダウンロード可

次ページより主な4つのスケジュール例をご紹介します

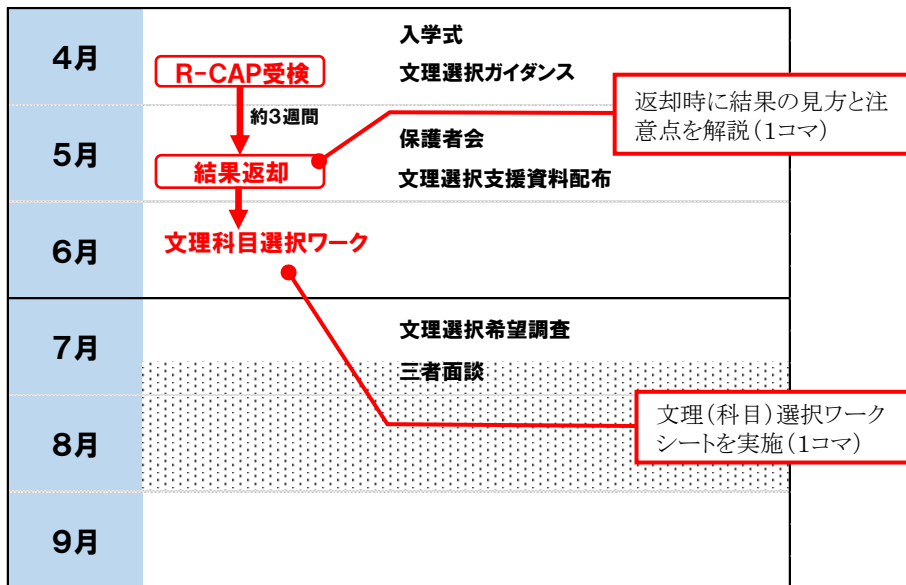
## 2 夏休み前にほぼ決定する <春受験パターン>

### ねらいと効果

- 将来を考えていない生徒に卒業後の進路を意識させる
- 短い期間に、職業・学問への視野を広げる
- 保護者にも、自宅で話し合うよう促すことで効果が高まる



### スケジュール例



### ■先生の声

4月から6月までの短い期間で2年次の文理選択を決めなければならない、生徒が十分に考える時間や材料が不足していると感じていました。

R-CAPの結果には仕事／学問カタログも付いているため、具体的な進路を考える助けになり、文理選択に効果的だったと思います。

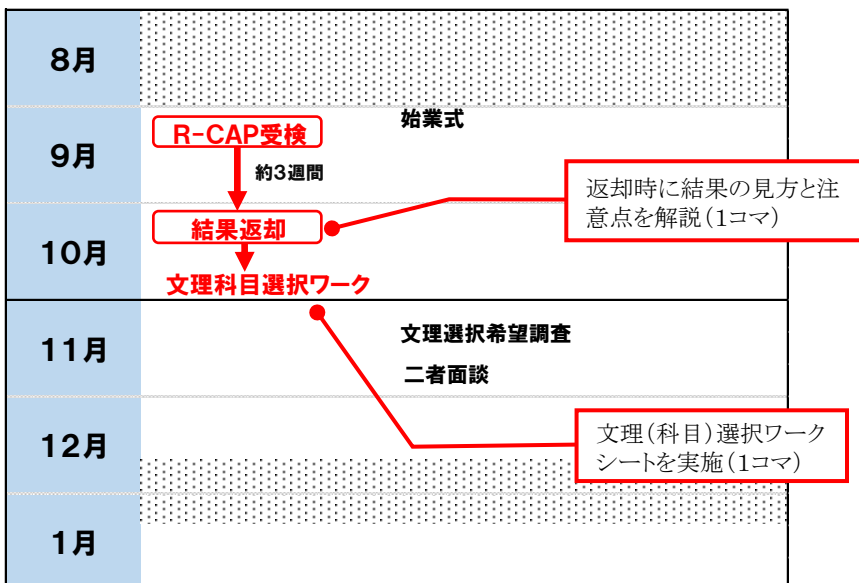
## 3 秋以降にほぼ決定する <秋受験パターン>

### ねらいと効果



- 直前に受験することで、集中して取り組みさせられる
- 学校に慣れてきて、卒業後の進路を意識させやすい
- 文理希望とR-CAPの結果をすり合わせ、再確認させる

### スケジュール例



### ■先生の声

1学期は忙しく時間がないため、夏休み明けから文理選択考えさせるようにしています。

最初のきっかけとしてR-CAPを使っていますが、いろいろな職業・学問が紹介されていて、文理選択傾向も出ているので、参考資料としてとても役立っています。

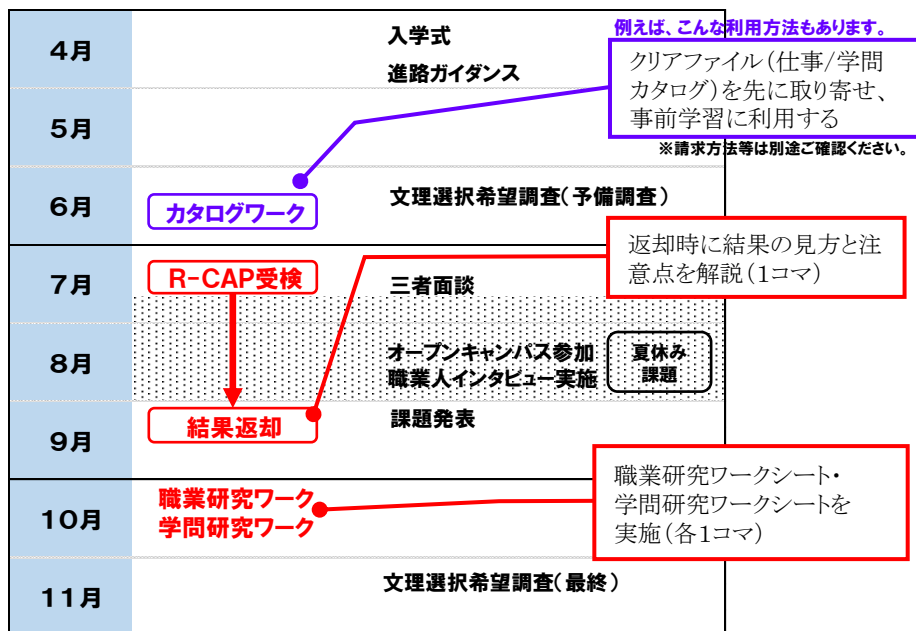
# 4 夏休みから秋にかけて決定する <夏休み前受験パターン>

## ねらいと効果

- 1学期中と夏休みに様々な体験をさせられる
- 夏休みにもオープンキャンパス参加などを通じて考えさせられる
- 各行事ごとに、文理選択を意識させることで効果が高まる



## スケジュール例



## ■先生の声

生徒には、入学当初から高校では、将来を考える事がいかに大切かを伝えていきます。

1学期から文理選択について伝え、職業人インタビューやオープンキャンパスなどの体験と、R-CAPによる客観的データを、手がかりに、自分自身で考えて決めさせるようにしています。

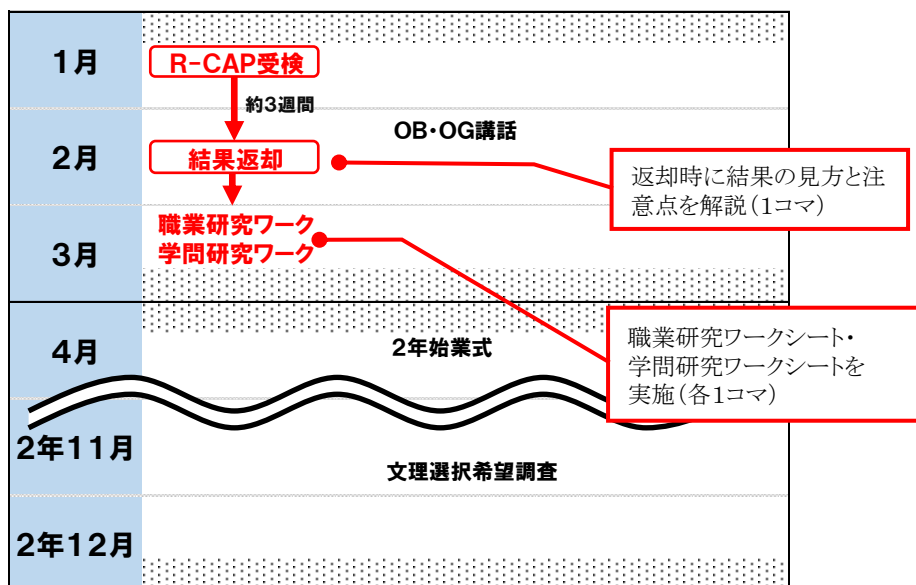
# 5 2年次で文理選択する <1年次冬受験パターン>

## ねらいと効果



- 落ち着いて将来について考えさせられる
- 2年次の中だるみを防止できる
- 早めに意志決定をさせ、目標に向けた学習に力を入れさせられる

## スケジュール例



## ■先生の声

全員がセンター試験に対応できるよう、3年進級前までは文理選択はありません。

2年間の教科の成績や、好き・嫌いに隔たって文理選択を行なう傾向があるので、将来の進路を広く見せられるR-CAPは、生徒にとって有効であると感じています。